

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2021-22 Vol.9

ガバナー月信 **3**月号



SERVE TO CHANGE LIVES



国際ロータリー 第2660地区

ガバナー **吉川 秀隆**

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2021-22 Vol.9 3月号

ガバナーメッセージ(水と衛生月間)	1
世界ローターアクト週間にちなんで	2
大谷 透パストガバナー 追悼文「当意即妙のひらめき」	4
ロータリーとポリオ「END POLIO NOW」学習会について	5
2022学年度 米山奨学生選考試験	7
ロータリー財団 補助金管理オンラインセミナー報告	9
2022-23年度 ロータリー財団 地区補助金申請受付開始のお知らせ	11
2022-23年度のための 地区チーム研修セミナー	12
国際協議会 報告	14
こころのリレー	15
IM第4組ロータリーデー 報告	16
地区ローターアクト 活動報告	18
2022年2月度 MY ROTARY 登録状況	19
ロータリー財団／米山奨学委員会	20
2021-22年度 ロータリー財団 年次基金 寄付状況	21
2021-22年度 ポリオ・プラス基金 寄付状況	22
2021-22年度 米山奨学会 寄付状況	23
2022年1月度 会員数報告	25
コーディネーター NEWS	26
ハイライトよねやま	28
お知らせ	30

水と衛生月間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 吉川 秀隆
(大阪RC)



ふと見た本棚にまったく使わなくなった漢和辞典があり、みず・さんずいの部首が使われている漢字がどれくらいあるのだろうかと思いました。ネットで(笑)調べてみると、自然に関する部首の漢字が多く、常用漢字ではみず・さんずいが一番多く使われているようでした。如何に私たち日本人の周りに水が関係しているかがわかります。私の会社は、医療・美容・理容の関連商品を扱っているため、必然、永年にわたって水の性質を研究し続け、共に歩んでいます。また、大阪の水瓶である琵琶湖をもつ滋賀県に工場があり、廃液などに対する環境汚染への意識は高く、環境を守ることに真剣に取り組んでいます。まさに、この「水と衛生月間」が常であると言ってもいいでしょう。皆さんは、どのように水と向き合っていますか？

私たち人間社会は、水なしでは語れない社会です。私たちの体は、成人で60から65パーセント、新生児ならば約80パーセントが体液と呼ばれる水分でできています。また、地球の表面の約71パーセントが海、そして私たちの国はその海に囲まれている類い稀な海洋国です。類い稀なと表現したのは、山と海が近接し、気候、海流など様々な状況が相まって、私たちの国土自体が、美しい水を生産する自然の装置であると思えるからです。しかし、時に私たちは、世界でも類を見ないこの国土の価値を忘れてしまうことがあります。近年では、水源を他国の資本に買収されていることが問題として取り上げられたりもしています。

さて、衛生についてですが、今回のコロナ禍での感染が抑えられている理由の一つが、手洗いの習慣であると言われています。それを否定するものではありませんが、そこには、常にきれいな水を私たちが使うことができるという恵まれた環境があります。昨年の月信で簡直前ガバナーがご紹介されたように世界の水の事情は、日本と比べ物にならないくらい大変厳しいものです。それ故、「私たちの手洗いの習慣が素晴らしい」という報道とともに、この自然の恵みを決して忘れてはいけないと思いました。

話は変わりますが、海のスポーツであるヨットには、「seamanship」という言葉があります。日本では馴染みが少ないスポーツですが、海外では、ヨットが市民レベルでも大変楽しまれています。私も海が好きで、釣りなどで和歌山沖や沖縄などに足をのびします。ヨットに乗った経験は殆どありませんが、夢はヨットで世界を航海することです。ヨットも然り、小型の船舶では、実社会と違い必要最小限の物資と搭乗する人が、それぞれ大事な役割を担って生活が営まれます。水の重要性は言うまでもありませんが、これらのどれか一つでも欠ければ、海上での命にかかわるという世界です。「seamanship」の精神は、とても新鮮で、社会で人が生きることの基本的なことを見直すことにつながります。

大好きな海からの教訓は、私たち人間社会が、地球という大自然の恵みの上に成り立っていることを常に認識させてくれます。いつまでも子供たちが健康で幸せに暮らせるように、この地球の恵みを大事に守り、残していきたいと強く思います。未来の子供たちのために頑張りましょう。

世界ローターアクト週間にちなんで

ローターアクト委員会 委員長 樋口 晃
(大阪西南RC)



世界ローターアクト週間とは? 皆様ご存じでいらっしゃると思いますが、今一度、ご説明させていただきます。今から54年前1968年3月13日にアメリカ合衆国ノースカロライナ州ノースシャーロットローターアクトクラブが最初に認証されました。

その日、3月13日を「ローターアクトの日」と定め、その日を含む1週間をローターアクト週間とRI理事会は決めました。

毎年「世界RACDAY」という名称で、その期間に世界のローターアクターにより、一斉に奉仕活動を行います。当地区でも25クラブ合同例会とし3月13日に大阪帝塚山ローターアクトクラブが、ホストクラブとなりRACと大阪を知る為に4つの委員会のグループに分かれて、親睦と奉仕活動を行う予定で御座います。

さて、今ローターアクトの現状で御座いますが、2019年の国際ロータリーの規定審議会でローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれる事となりました。そしてローターアクトに関する重要な決定事項の追加と変更を加えました。

2022年7月1日より

- グローバル補助金プロジェクトで援助国側提唱者または、実施国側提唱者になる事が出来る。
- ローターアクトクラブは国際ロータリーに会費の支払いが、地域を拠点としたクラブは8ドル、大学を拠点としたクラブは5ドルの年会費を支払う。

ロータリー章典への変更事項

- ローターアクトに関する方針は第5章「プログラム」の部分から第2章「クラブ」の部分に記載されます。
- 方針に関する変更事項に基づき「標準ローターアクト定款」並びに「推奨ローターアクト細則」が改訂されました
- ローターアクトクラブは18歳以上のすべての若い成人が入会できるようになる。
(この事は年齢制限の廃止ですが、ローターアクトクラブは会員の承認を得た場合、またはスポンサークラブの承認を得た場合、年齢制限を設定することが出来ます。)
- すべての地区委員会にローターアクターを加える事がロータリー地区に奨励されます。

上記以外にもまだ、重要な決定事項は多く御座いますが、主だったものをご紹介します。頂きました。

そして、この事に対しローターアクト委員会と致しましては、各地区委員会のご協力を頂きまして、

- 国際ロータリーにローターアクト会員の正確な会員登録及びMy Rotaryへのアカウント登録の推進活動。
(会員登録は人頭分担金の根拠となるものと考えての、My Rotaryを通してロータリーを深く理解して頂く為で御座います。)
- RACの財団補助金活用推進の為の意見交換会及び地区ロータリー財団補助金管理セミナーへのローターアクトクラブの出席参加。
- ローターアクト委員会へのローターアクト委員の任命。
- 各ローターアクトクラブへの定款変更によるクラブ細則のカスタマイズ作成の呼びかけ。
- 新第2660地区ローターアクトガイドブックの作成。
- 会長エレクト研修セミナーへのローターアクトの参加。

などの対応活動を行っております。

この様にローターアクトに関する国際ロータリーでの大きな変更が本年7月より始まろうとしております。

この大きな変革の中ですが、当地区のローターアクトはまさにそのRotaryとActionを結びつけたローターアクトと言う意味の通りに相応しい第2660地区が全国のローターアクトに呼び掛け、全国21地区で一斉献血活動を2月に行ないました。全国にコロナ禍での献血不足に対する社会奉仕活動の重要性をロータリーとして取り組み「世界に良い事をしよう」を具現化した活動だと思います。

まん延防止等重点措置が発令されている中ではございましたが、この活動にご理解、ご支援頂きました当地区吉川Gはじめ、全国のガバナー、ロータリアンに深く感謝申し上げます。

大谷 透パストガバナー 追悼文 「当意即妙のひらめき」

パストガバナー 四宮 孝郎
(大阪西南RC)

大谷さん、覚えていらっしゃいますか？貴方がガバナーに就任された2009年「ロータリーの友」7月号に掲載された、当クラブの元会長品川 潔さんが書かれたガバナー紹介文です。

「50年を超える交友の初期のころ。当時、大阪大学医学部大学院生として癌研で勉強を続けていた彼をたまたま訪ねたとき、「最近よく腹が痛む」と訴えたら、「ヨードチンキ塗っとけや」と返ってきた。その通りにしたら治った。これが私にとっての彼の当意即妙であった。」(一部抜粋)

1977年2月に入会され、39年間にわたり通算100%出席、ホームクラブ出席率も長年第1位を獲得。さぼり癖のあった私は、常に尊敬の念を抱いておりました。

「ここへ来て、みんなと一緒に昼ご飯を食べんの好っきゃねん」と仰って、会員との団欒を楽しんでいらっしゃいましたね。お得意の英語や韓国語を挟みながらのお話は、女性会員にも好評でした。

1986年には、当地区医師団による、新年休暇を利用した国際奉仕活動に率先参加し、十数人の団員とともに、当時まだ治安の良くなかったフィリピンのネグロス島で、貧困層住民に治療奉仕されました。

又、その後もインドへのポリオワクチン投与に赴かれ、その行動力に感銘を受けたのを、今も覚えています。

貴方のガバナー年度に地区代表幹事としてお仕えした経験は、私のガバナー年度の支えになったことは言うまでもありません。

あなたの残された偉大な功績に報いる気持ちは、大阪西南ロータリークラブ会員みんなが持っています。天に召された後も、どうぞ我々をお見守りください。

ウィットに富んだ一言を楽しみに・・・お待ち致しております。



ロータリーとポリオ 「END POLIO NOW」学習会について

米山奨学委員会 副委員長 **魚谷 健司**
(大阪西南RC)

日時：2021年12月20日より

場所：地区HP上

地区米山奨学委員会は、米山奨学生全員を対象に米山奨学事業への理解を深めてもらうため、例年11月に米山梅吉記念館訪問を実施してまいりました。しかし本年度コロナ禍にあり、やむなく実施しないことを決定いたしました。そこで、代替りの活動としてロータリーが最優先事項として取り組んでいるポリオ根絶を通じ、米山奨学生にロータリーへの理解を深めてもらおうと考え、ロータリーとポリオ「END POLIO NOW」学習会を行うことを決めました。

まず、2021年9月に行われた地区ロータリー財団セミナーの動画を中心にわかりやすい動画を作成し、米山奨学生全員とカウンセラーの方に動画を見て頂き、その後米山奨学生の皆様に感想文の提出をお願いしよう。また、年末年始の忙しい時期に入りますので、インターネットからいつでもどこでも視聴できる動画となるよう考えました。

そのことを考慮に入れた動画は、2021年12月20日より地区HPの「委員会情報、地区米山奨学委員会」にUPし、奨学生全員から感想文を提出頂きました。

ここで提出頂いた感想文の一部を紹介します。

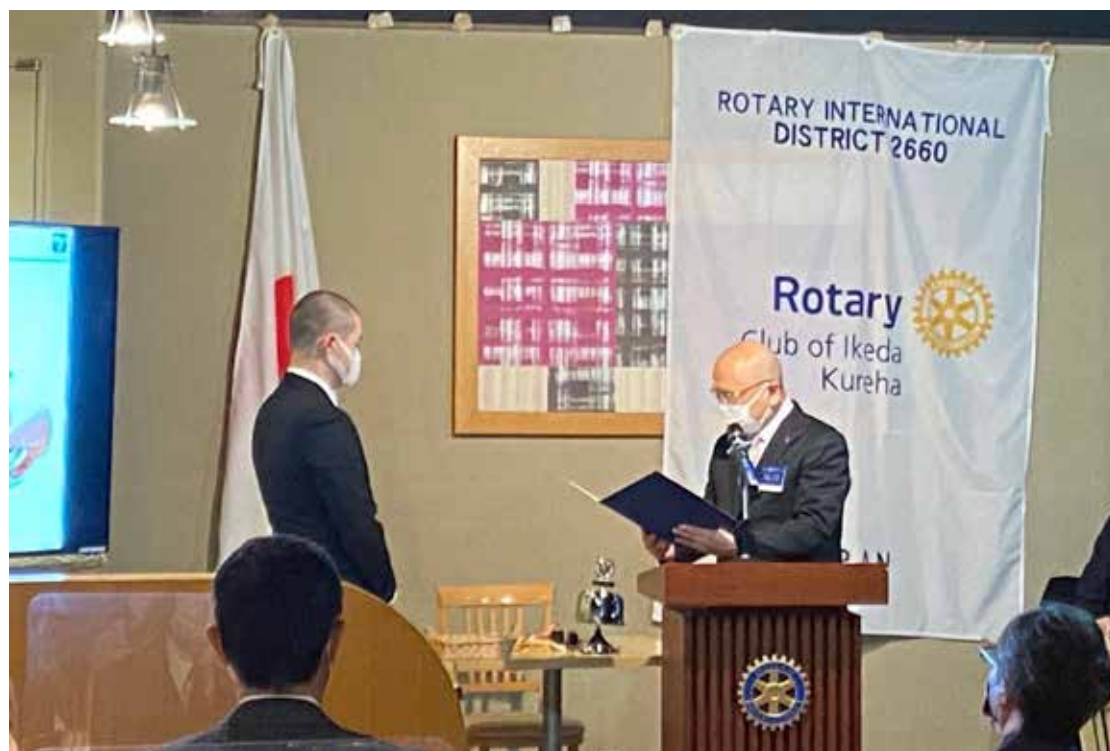
- ◆今もポリオ根絶運動が行われており、ロータリークラブが、それに対して尽力したなんて、初めて聞いたので驚きました。
- ◆頑張って行動しているロータリアンに対して、私は尊敬しており、奨学生になったことを光栄に思います。
- ◆医師団体ではないロータリークラブがポリオ根絶の為に大きな影響を与えられたことに感動しました。
- ◆どんなことでも夢を持って努力すれば、実現できると感じました。
- ◆一層努力して奉仕活動に参加し、責任感の強い人間になるよう頑張っていきたいです。
- ◆学習会をきっかけに、ポリオの事、ロータリークラブの事を改めて調べ、カウンセラーの方と一緒に学習しました。

以上のような記述もありましたように、大変有意義な学習会だったと感じております。次年度以降もこのような奉仕学習会を続けていければと考えております。

米山奨学生のみなさんが、ロータリーファミリーとしてRotarianとともにロータリーの奉仕活動に積極的に参加され、世界のリーダーとしてご活躍されることを祈念いたします。

尚、感想文を提出頂いた奨学生には、随時修了証をクラブに送りしましたので例会でお渡しいただくこととなっております。

最後になりますが、クラブカウンセラーのみなさまには、お世話になりました。厚く御礼申し上げます。



2022学年度 米山奨学生選考試験

米山奨学委員会 副委員長 **宮本里恵**
(大阪中央RC)

日 時：2022年1月22日(土) AM8:15～PM16:30

場 所：サニーストンホテル

参加者：片山PG、延原GN、早嶋地区代表幹事、下條次年度地区代表幹事、前田次々年度地区代表幹事、瓦谷地区学友委員長、松吉次年度地区青少年交換委員長、曾家次年度地区インターアクト委員長、伊藤次年度地区ローターアクト委員長、友田次年度地区RYLA委員長、地区米山奨学委員会 古城元委員長、清水直前委員長、末松委員長、坂田副委員長、宮本副委員長、魚谷副委員長、喜多委員、辻本委員、福田委員、大道委員、新井委員、清水清一オブザーバー 以上22名
米山学友会関西 関会長以下 6名

1月22日、2022学年度の米山奨学生を選考するための面接試験が、徹底したコロナ感染予防対策の中行われました。今回は宮里GEの方針のもと、青少年奉仕部門の委員会の方々に面接官に入っていただくこととなりました。片山PGをはじめ地区役員5名と青少年奉仕部門の委員会の5名と地区米山奨学委員会直前委員長と元委員長とオブザーバー、地区米山委員会の9名は、公正な選定を行うため12月に「面接官のためのオリエンテーション」を受け、2022学年度の応募者66名の申請書類、研究計画書や小論文などを丁寧に読み込んで面接に臨みました。

当日、受験生に体調不良による欠席棄権1名と米山委員の欠席が3名ありましたが、3人1組7チーム編成での面接による選考試験を行うことができました。

グループ・ディスカッションでは、「奨学期間終了後、日本と世界の懸け橋となったときロータリーとどのように関わりたいと思いますか」というテーマと「恩送りについて思うこと」について4～6名が自由に発言し、各人のコミュニケーション能力などを評価しました。個人面接は一人20分弱、面接官から、日本留学を終えた後の将来計画やロータリーのどのようなところに興味を持ちましたか等、様々な質問がありました。面接は日本語で行われましたが、すでに流暢に日本語を話す留学生もいれば、来日して月日が浅く日本語での受け答えに苦労する留学生もいました。

2022学年度の採用枠は52名。2021学年度からの継続奨学生が18名(そのうち2022年9月までの奨学生が4名)いますので36名の新規の合格枠となります。地区奨励の専門学校生と期間が半年の奨学生は0.5枠となり、実際には37名の新規採用となる予定です。また海外からの直接応募からも1名合格となりました。

この面接審査後、慎重に合否が判定され、米山奨学生の受入を希望するクラブへの配属が決定され、間もなく発表されます。「世界との架け橋」となる米山奨学生へのご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。

今回もまた関西学友会から6名のお手伝いを頂き、大変スムーズにとりおこなわれましたこと、改めましてお礼申し上げます。



ロータリー財団 補助金管理オンラインセミナー報告

ロータリー財団委員会 資金管理小委員会 委員長 相馬 康人
(八尾RC)

日時：2022年1月29日(土) 14:00～17:00

開催：Zoomウェビナー

財団補助金の利用申請にあたり、皆さまに参加資格認定を受けていただくため毎年開催している当セミナーですが、新型コロナウイルス感染拡大により、今年度もやむなくオンライン開催となりました。

対面でお話しできなかったことは残念ではあるものの、200名以上の方々にご参加賜りましたこと、深く御礼申し上げます。

当日の概要とプログラムは下記の通りです。

吉川秀隆G ご挨拶

「パンデミックの中、ロータリー活動を通じて学び、経験していくことは将来の礎となると確信している。このような有事こそ、ロータリーの奉仕の精神に基づく行動は最大限の力を発揮しなければならない。それを支えるのがロータリー財団であり、財団活動についてしっかり学び、より大きな成果につなげていただきたい。」とのお話を頂戴しました。

宮里唯子GE ご発表

「次年度の財団補助金活用について」

「奉仕活動において次年度は、『奉仕の質の強化』『児童・学生支援』『成果・役割の広報』『RAC・IACをはじめ多方面からの積極的な参加』を優先事項とする。新型コロナ感染拡大の中、困難ではあるが持てるリソースを最大限に活用していただきたい。」とのお話を頂戴しました。

ロータリー財団委員会 委員長 村橋義晃(大阪中之島RC)

「次年度のためのロータリー財団」

クラブの参加資格認定と補助金管理セミナーの位置づけ、財団委員会ならびに各小委員会の活動方針と重点施策について説明を行いました。

資金推進小委員会 委員長 明石 晃(大阪西RC)

「財団寄付と認証」

補助金の原資となる寄付金への理解と協力をいただけるよう、財団寄付の意義と内容・税制上の優遇措置・ロータリークレジットカードについて説明を行いました。

補助金小委員会 委員長 新堂 博(大阪城北RC)

「次年度の財団補助金プログラム」

補助金を積極的に活用していただけるよう、財団の方針、地区補助金・グローバル補助金の内容に加え、新たに設けられたRACの補助金プログラム参加要件について説明を行いました。

資金管理小委員会 委員長 相馬康人 (八尾RC)

「財団資金管理」

補助金の適切な活用のための注意点について、その根拠も含めて説明を行いました。

ポリオプラス小委員会 委員長 近藤佑介 (大阪心斎橋RC)

「ポリオ根絶」

ポリオ根絶に向けてこれまでの経緯と現状の説明と、次年度の課題である「社会の認識向上」「情報発信」「世界ポリオデーへの参加」「寄付促進」への協力を呼びかけました。

奨学金小委員会 委員長 塚本 英 (大阪北梅田RC)

「財団奨学金プログラム」

財団奨学金プログラムの内容を紹介し、次年度のグローバル奨学生・平和フェローシップの募集案内を行いました。また、今年度の奨学生候補者のお二人に動画による自己紹介を行っていただき、スポンサークラブを募っております。

このあとクラブのMOUの提出手続についての説明を行い、締めくくりとして公益財団法人ロータリー日本財団監事 井上暎夫PGより、ご講評・閉会ご挨拶を頂戴しました。

このセミナーが皆さまの奉仕活動のお役に立てることを切に願いつつ、今回のご報告とさせていただきます。開催にあたりご協力いただいた方々、ご参加・ご視聴して下さった方々にあらためて感謝申し上げます。



2022-23年度 ロータリー財団 地区補助金申請受付開始のお知らせ

2022-23年度 ロータリー財団委員会 委員長 **村 橋 義 晃**
(大阪中之島RC)

平素よりロータリー財団に格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2022-23年度のための地区補助金の申請受付を**2022年3月1日より開始**致します。

2022-23年度の重点施策は、地域社会のニーズ調査に基づいた人道的社会奉仕事業による生活困窮者の支援です。出口の見えないコロナ禍のなかで「経済的に恵まれない子供達や生活困窮学生達」への支援をご検討頂き、地区補助金を活用したプロジェクト立案をお願い申し上げます。

尚、申請方法につきましては、「2021-22年度 財団補助金申請ハンドブック」2021年8月版(7~17頁)をご参照下さい。([財団補助金申請ハンドブック]は、地区ウェブサイト”財団委員会~補助金を申請・報告する”からダウンロードして下さいます様お願い申し上げます。)

【地区補助金申請のステップ】

1. 地区ウェブサイトより、2022-23年度 地区補助金申請書(Excel版)をダウンロードして必要事項を入力して下さい。
〈プロジェクトの種類を選択〉 ①社会奉仕活動 ②人道的国際奉仕活動 ③奨学金 ④職業研修
2. 地区補助金申請書と見積書を添付の上、メール (funahashi@ri2660.gr.jp) にてガバナー事務所に提出して下さい。(原本は不要です)

【地区補助金申請の留意点】

1. 2022-23年度のための地区補助金の**受付期限は2022年4月30日**です。不備のない申請書および必要書類を期限内に提出下さい。([財団補助金申請ハンドブック] 11頁)
申請受理は、申請期間内に不備の無い申請書類等の先着順とし、申請期間内であっても補助金予定額の上限に達した場合は、申請受理が出来かねます。
2. 2020-21年度の年次基金寄付実績に応じ、各クラブへの補助金配分率が異なりますので、ご確認下さい。([財団補助金申請ハンドブック] 16頁)
3. 人道的国際奉仕活動にも活用できます。
プロジェクトの予算規模や現地にロータリーが存在しない等、グローバル補助金の要件を満たせない海外への人道支援や奨学金、職業研修にも地区補助金を利用できることをご確認下さい。

ご質問は地区財団委員会 補助金小委員会までお問い合わせ下さい。

(funahashi@ri2660.gr.jp または06-6264-2660)

2022-23年度のための 地区チーム研修セミナー

2022-23年度 地区代表幹事 **下 條 泰 利**
(大阪南RC)

日 時：2022年2月5日(土) 13:00~15:40 ZOOMウェビナー

出席者：吉川ガバナー、パストガバナー 9名、簡直前ガバナー、宮里ガバナーエレクト、延原ガバナーノミニー
ガバナー補佐エレクト 6名、ガバナー補佐ノミニー 5名、他地区役員、地区委員、RAC地区役員等、約200名

2022-23年度のための地区チーム研修セミナーは、オミクロン感染急拡大を受け、完全オンライン形式にて実施しました。当日は、画像や音声の中断、終了時間の超過等、ご出席の皆様にご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫びいたしますと共に、今後の地区行事への教訓として改善してまいります。以下、セミナー概要について報告します。

宮里ガバナーエレクト／2022-23年度RI会長テーマ・第2660地区活動方針

2022-23年度Jennifer E.Jones RI会長テーマは、「IMAGINE ROTARY」。世界にもたらす変化(成功)を想像して大きな夢を描き、実現のためにロータリーの力とつながりを生かす、という主旨です。また彼女のテーマ発表のスピーチでは、次の4点について言及されていました。

- 会員増強と維持(会員の参加を促す=心地よさ、配慮、果たしがいのある責任)
- 新クラブ設立(革新的クラブ、関心や活動分野に基づくクラブ)
- ローターアクト(リーダーとして迎え入れる、貢献を尊重する)
- 女性会員(会員基盤の30%を女性にする)

当地区におきましては、2017-18年度に策定、発表した地区ビジョン並びに5か年中期計画は今年度が最終年にあたりますので、吉川DGと延原DGNと共に2022-23年度からの新たな地区ビジョンと3か年中期目標を策定しました。中期目標は、RIの四つの「ロータリーの戦略的優先事項と目的」、つまり「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」を基本とし、次年度からは3年にわたり具体的な年次目標を掲げて参ります。

以下は2022-23年度の年次目標ですが、国際協議会後にはさらに具体化のうえ、地区委員会、各クラブに御理解と推進へのご協力をお願いして参ります。

- ▶ ロータリー財団の寄付推進およびローターアクトクラブの財団補助金プログラムへの参加
- ▶ 地区行事やクラブの奉仕活動へ若いロータリーファミリーが参画することによる公共イメージ向上
- ▶ 革新的クラブや関心、活動分野に基づく新クラブの新設
- ▶ RIや地区のビジョンに準じたクラブビジョン策定の推進
- ▶ 従来の方策にとらわれないプログラムや行事、学びの機会の創出
- ▶ クラブ、および会員個人のロータリー賞や各種奉仕賞受賞の推進
- ▶ 地区レベルおよびクラブレベルにおけるDEI(多様性・公平さ・インクルージョン)の推進

以上のような目的を推進するために、地区チームである各委員会の皆様にはMy Rotaryのラーニングセンターを活用のうえ、今一度委員会活動に何が求められているのかを確認し、新しい知識を得、今まで以上にクラブへの支援を強化するために従来の活動や硬直化を見直し、必要であれば排除し、地区ビジョンや中期計画を推進するための活動を創出、取り組んで頂きますようお願い申し上げます。



山本パストガバナー講話

山本パストガバナーからは、「地区チームの役割」と題して講話をいただきました。初めにロータリー経験の浅い会員向けに、ロータリー章典や組織について解説があり、クラブが主役であることを強調されました。

次にロータリーの目的に触れ、4つのテストに代表される行動指針や標語、中核的価値観などが示されました。続いて2660地区の現状、会員の推移や寄付の状況、地区ビジョンなどが紹介されました。

最後に、地区チームの役割について、他地区との比較を踏まえながら説明いただき、クラブを継続的に支援し活性化させることが最も重要であることを述べられました。

その他のプログラム

新開・次年度財務委員長より、2022-23年度財務委員会方針並びに各委員会事業予算・決算についての説明があり、また私からは地区組織・地区行事・各委員会取決め事項について説明をさせていただきました。

地区組織の第一の目的はクラブ支援であり、そのためにも各部門の効率化や相乗効果を高める施策を推進していきます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

2022-23年度 2660地区 テーマロゴ



国際協議会 報告

ガバナーエレクト 宮里 唯子
(茨木西RC)

2022年国際協議会は、2022年2月7－14日に完全バーチャルで開催されました。本年度の本会議は全てオンデマンド配信、セッションは世界のタイムゾーンに合わせた開催でした。時間厳守は午前11時から75分のオンライン・セッションですので、体力的には大変楽でした。

セッションは各地区ガバナーエレクトとの活発な意見交換が中心となり、積極的な発言が求められるものの、決して答えが用意されているわけではなく、国際ロータリーが掲げるビジョンと戦略的優先事項と目的、22-23年度の年次目標、DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）のコミットメントをどのように会員やクラブ、地区チームに伝え、実践を促すかということは、ガバナーエレクトとして自分自身で決めなければならないということです。

全セッションを通じて、地区レベルのリーダーとしての責任の大きさと実行力が問われるということを今更ながら認識した次第です。

特に次年度Jennifer E.Jones会長は「会員によるDEIへの献身、そしてDEIがロータリーの未来を強化するという私自身の強い信念から、私は次年度にDEIを主要な優先事項とします。」とし、地区リーダーに対して、あらゆる場面でのインクルーシブで公平な言動の模範となること、自分の言動がほかの人に及ぼす影響について責任をもつこと、各自の言動がほかの人に与える影響について会員の意識を高めるために、DEIの行動規範を徹底して適用すること、クラブに、会長イニシアチブとして推奨される活動に参加するよう強く奨励することを求めています。ロータリアンである前に、人として寛容で謙虚であることに今一度務めていかなければならないと改めて感じた8日間でした。

地区内クラブと会員皆様に、この度の国際協議会で学んだ事、お伝えすべき事、実践をお願いすべき項目については、今後PETSと地区研修・協議会で発信して参ります。

2022－23年度一層のご理解と御協力をお願い申し上げ、以上2022年度国際協議会の御報告まで申し上げます。



RI会長エレクト テーマ発表



分科会 (セッション)

こころのリレー

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 吉川 秀 隆
(大阪RC)

この度、台湾の国際ロータリー第3521地区より医療用マスク (FFP2) 約12万枚の寄贈が大阪中之島ロータリークラブに申し出があり、当地区を通して大阪府医師会に寄贈することとなり、去る2月10日、大阪府医師会館にて寄贈式が執り行われました。

当該医療用マスクは2021年5月に台湾で発生した新型コロナウイルスによる感染者数が急増したことに伴い、日本から390万回分のワクチンを支援したことに対する台湾の皆様のお礼が込められています。このマスクはこの寄贈のために、2021年8月から12月にかけて台湾で急ピッチで生産されたと伺っております。台湾の皆様のお気持ちに心が温まりました。

当地区への寄贈となったのは、日頃より地域に、世界に向けて積極的に活動されている大阪中之島RCの皆様のご活動の成果が台湾と当地区の懸け橋となったと心から嬉しく思い敬意を表するものです。ここにご報告するとともに国際ロータリー第3521地区の皆様と大阪中之島RCの皆様に改めて感謝を申し上げる次第です。



IM第4組ロータリーデー（ロータリー奉仕デー）報告

IMロータリーデー 実行委員長 大橋 秀典

テーマ：世界にふれよう!! 私たちが出来る子どもたちのエンパワメント

開催日時：2022年2月19日（土）

配信場所：国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所

登録者数：631名

配信時再生回数：477回

今年度のシェカール・メータRI会長より『ロータリー奉仕デー』を計画・開催するように依頼がある事を鑑みて、今年度のIM4組ロータリーデーは、ロータリー奉仕デーとして実施するように企画致しました。メータ会長は、女子のエンパワメントに優先的に取り組むようにとされており、また本年度の吉川ガバナーも『子どもへの支援』を呼びかけられています。そこで、今回のテーマは『世界に触れよう、私たちが出来る子供たちのエンパワメント』にいたしました。

エンパワメントという言葉の定義は広く、解釈も難しいと思いますが、今回は『人々に夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っている素晴らしい、生きる力を湧き出させること』と位置付けています。

第一部は『Withコロナの国際交流1週間の記録』と題し、ビデオを中心に構成しました。東大阪市立日新高等学校の1年生、2年生の学生と、タイ、カンボジアの若者たちが昨年秋に行った、約一週間のバーチャル国際交流の様子をご紹介します。最初のうちは、言葉の不安や慣れない画面越しの交流でぎこちなかった子どもたちが、回を追うごとに段々と打ち解けていき、最後は旧知の友達のように親しみを感じ合い、コロナが終わったら是非ともお互いの国を訪問して、交流を続けたいと言うまでになりました。たとえ限られた時間（1週間）、限られた環境（バーチャル）であっても、異なる文化や生活に触れたり、友達になったりできるという『成長する機会（エンパワメント）』を十分に与えられる事をご覧いただけたと思います。

第二部は『国際交流を通じた子どもたちのエンパワメント』というテーマでパネルディスカッションを行いました。青少年交換のプログラムの可能性について、元地区委員会委員長、元交換学生（来日学生、派遣学生）、ホストファミリー経験者がそれぞれの経験を語り、交換プログラムを通して得た『エンパワメント』についてディスカッションしました。ロータリーの青少年交換は、家族単位で学生を歓迎し、温かく成長を見守るプログラムであり、異国に家族を得ることで、特に平和について良い学びが出来るかと改めて感じました。

今回のロータリー奉仕デーを通し、『ロータリーの青少年奉仕』とは、青少年に海外文化交流の機会や、リーダーとして成長する機会を提供するものであると周知するだけでなく、ロータリークラブの活動は、コロナ禍であっても可能性にチャレンジしていることを広く知って頂ける機会になればと思います。

我がクラブ初の配信イベントでしたが、当日はトラブルも無くほっとしました。開催にご協力頂きました、IM第4組の皆様、日新高等学校の皆様、ご指導頂きました大谷ガバナー補佐に心よりお礼を申し上げます。

※事後配信を行っています。お見逃しの方は是非ご視聴ください。

2021-22 RI第2660地区 IM4組ロータリーデー／ロータリー奉仕デー

『世界にふれよう!!』～私たちが出来る子どもたちのエンパワメント～

<https://www.youtube.com/watch?v=c4zay01PbQ0>





地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト 代表 **重 留 里 咲**
(大阪中央RAC)

ローターアクト 地区広報委員長 **岡本千代恵**
(大阪西南RAC)

第2回地区献血

日時：2022年2月6日(日)

場所：イオン茨木前、京橋駅前、樟葉駅前、梅田HEP前、難波バス停前

ホストクラブ：大阪東ローターアクトクラブ

参加人数：約170名

第2660地区ローターアクト(以下、RAC)では過去約30年にわたり、地区行事として献血の啓発活動を継続してきました。今年度も日本赤十字社様のご協力のもと、7月の第1回地区献血に引き続き、2月6日に大阪府下5地点にて第2回地区献血を行いました。5地点合計での採血者数が327名(受付者数389名)、各地点での結果は以下のとおりです。

【イオン茨木前】 採血者数69名(受付者数80名)

【梅田HEP前】 採血者数62名(受付者数81名)

【京橋駅前】 採血者数71名(受付者数82名)

【難波バス停前】 献血者数47名(受付者数57名)

【樟葉駅前】 採血者数78名(受付者数89名)

今年度の第2回地区献血は、第2660地区RACから全国の友好地区に協力を呼びかけ、各地区で啓発活動を実施する「全国一斉献血」となりました。コロナ禍の影響を受けて慢性的な血液不足が生じるなか、全国のRACが心を一つにして奉仕活動を行うことで、多くの命が救われたのではないかと思います。

当日は吉川ガバナールをはじめ、ロータリークラブの皆様や米山奨学生の皆様、RACのOB・OGの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。万全の対策をしていたとはいえ、凍えるような厳しい寒さのなか、温かいお言葉が活動の励みになりました。

ご協力いただいた血液は大きな怪我や手術だけでなく、癌や白血病といった病気の日々の治療に使われます。医療の発達した現在においても、血液は人工的に作ることができません。私たちの献血が、患者さんはもちろん、ご家族をも救う希望となります。献血は人と人との助け合い、わずかな勇気と時間で命を繋ぐことができる身近なボランティアです。次年度におきましても、今年度と同様に夏と冬に地区献血を実施予定ですので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※活動当日の様子はこちら「https://www.instagram.com/reel/CZt9gR4Jv3c/?utm_medium=copy_link」
(INSTAGRAMアカウント@2660japan_rotaract)



2021-22年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2022年2月度]

I M 第 1 組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	池田	28	23	82.1%
	池田くれは	30	30	100.0%
	箕面	27	16	59.3%
	箕面千里中央	18	8	44.4%
	大阪水都	38	20	52.6%
	大阪中央	60	56	93.3%
	大阪北梅田	55	32	58.2%
	大阪北	194	162	83.5%
	大阪大淀	39	24	61.5%
	大阪そねざき	33	18	54.5%
	大阪梅田	37	31	83.8%
	大阪梅田東	30	24	80.0%
	豊中	37	27	73.0%
	豊中千里	36	21	58.3%
	豊中南	24	17	70.8%
	合計	686	509	74.2%

I M 第 2 組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	茨木	29	24	82.8%
	茨木東	28	13	46.4%
	茨木西	27	25	92.6%
	大阪東淀ちゃやまち	17	17	100.0%
	大阪淀川	17	8	47.1%
	千里	25	15	60.0%
	千里メイプル	17	11	64.7%
	摂津	32	14	43.8%
	新大阪	32	24	75.0%
	吹田	56	54	96.4%
	吹田江坂	26	24	92.3%
	吹田西	42	42	100.0%
	高槻	47	36	76.6%
	高槻東	31	31	100.0%
	高槻西	16	12	75.0%
	合計	442	350	79.2%

I M 第 3 組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大東	38	25	65.8%
	大東中央	27	8	29.6%
	枚方	48	24	50.0%
	門真	26	10	38.5%
	交野	37	18	48.6%
	香里園	16	12	75.0%
	くずは	83	78	94.0%
	守口	36	14	38.9%
	守口イブニング	23	6	26.1%
	寝屋川	36	10	27.8%
	大阪東	132	102	77.3%
	大阪城東	34	22	64.7%
	大阪城北	54	42	77.8%
	大阪鶴見	28	21	75.0%
	合計	618	392	63.4%

I M 第 4 組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	東大阪	70	63	90.0%
	東大阪東	70	41	58.6%
	東大阪西	21	9	42.9%
	東大阪中央	18	13	72.2%
	東大阪みどり	17	5	29.4%
	大阪柏原	26	13	50.0%
	大阪御堂筋本町	46	27	58.7%
	大阪難波	58	40	69.0%
	大阪ネクスト	22	14	63.6%
	大阪南	180	151	83.9%
	八尾	68	40	58.8%
	八尾中央	11	8	72.7%
	八尾東	21	15	71.4%
	合計	628	439	69.9%

I M 第 5 組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大阪堂島	41	41	100.0%
	大阪フレンド	21	17	81.0%
	大阪西北	25	20	80.0%
	大阪リバーサイド	32	29	90.6%
	大阪船場	38	28	73.7%
	大阪心斎橋	42	30	71.4%
	大阪西南	98	71	72.4%
	大阪ユニバーサルシティ	37	31	83.8%
	大阪アーバン	29	24	82.8%
	大阪うつば	38	28	73.7%
	大阪西	108	60	55.6%
	合計	509	379	74.5%

I M 第 6 組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大阪	242	136	56.2%
	大阪イブニング	13	9	69.2%
	大阪平野	52	47	90.4%
	大阪城南	46	39	84.8%
	大阪中之島	35	31	88.6%
	大阪大手前	22	21	95.5%
	大阪咲洲	19	16	84.2%
	大阪東南	33	33	100.0%
	大阪天満橋	43	25	58.1%
	大阪天王寺	50	33	66.0%
	大阪帝塚山	43	26	60.5%
	合計	598	416	69.6%

	会員数	登録人数	%
2022年 2月 5日	3481	2485	71.4%

ロータリー財団／米山奨学委員会

ポール・ハリス・フェロー 次の方たちはポール・ハリス・フェローです(2022年1月)。

氏名	クラブ名
山南 秀樹	大阪梅田
池元 真吾	大阪リバーサイド

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2022年1月)。

氏名	回	クラブ名
村岡 万功	5	東大阪
辻本 一義	5	東大阪
立岡 寛次	8	東大阪
金子 勝信	1	東大阪中央
吉田 昌弘	1	池田
笹田 淳	8	大阪堂島

氏名	回	クラブ名
岡山 晃三	2	大阪梅田
小川 泰彦	3	大阪梅田
大矢 善昭	3	大阪梅田
今井 賢二郎	1	大阪城南
浅井 晃	5	大阪城南
細井 敦子	1	大阪城東

氏名	回	クラブ名
古市 仁	7	大阪西北
勝亦 良彰	7	大阪西北
高濱 昌次	2	大阪リバーサイド
松井 素子	6	大阪リバーサイド
藤井 武治	7	大阪リバーサイド
立花 佳枝	3	豊中千里

ベネファクター 次の方にベネファクターの称号が贈られました(2022年1月)。

氏名	クラブ名
池田 裕之	東大阪
辰野 久夫	大阪東

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2022年1月)。

氏名	回	クラブ名
石濱 宏章	2	大阪城南
中嶋 勝規	3	大阪城東
早瀬 道圓	91	大阪中之島
橋本 一範	1	大阪梅田

氏名	回	クラブ名
前田 信一	1	大阪梅田
浦垣 とし子	1	大阪梅田
Chadha MandipSingh	2	大阪梅田
荒尾 辰之	2	大阪梅田

氏名	回	クラブ名
中島 賢一	2	大阪梅田
岡山 晃三	4	大阪梅田
西川 正一	13	大阪淀川

米山特別功労法人 次の方に米山功労法人の称号が贈られました(2022年1月)。

会社名	代表者名	クラブ名
西川産業(株)	西川 正一	大阪淀川

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2022年1月)。

クラブ名	回数
大阪城東RC	51
大阪中之島RC	27
大阪梅田RC	42
大阪淀川IRC	43

2021-22年度 ロータリー財団 年次基金 寄付状況

クラブ名	7月期初 の会員数	クラブ 平均	年次寄付	ベネファ クター
大阪大淀	35	\$388	\$13,597	
大阪リバーサイド	30	\$307	\$9,219	
茨木西	28	\$277	\$7,743	
豊中千里	35	\$254	\$8,890	
東大阪	69	\$248	\$17,123	1
大阪中央	57	\$244	\$13,886	1
枚方	47	\$234	\$11,016	1
大阪アーバン	28	\$210	\$5,869	
大阪東	125	\$207	\$25,824	
大阪うつぼ	39	\$201	\$7,850	
豊中	37	\$199	\$7,375	1
大阪南	175	\$195	\$34,153	1
大阪堂島	40	\$195	\$7,781	
吹田西	43	\$184	\$7,893	2
大阪城北	52	\$178	\$9,236	1
大阪淀川	18	\$177	\$3,192	
茨木東	30	\$173	\$5,195	
大阪鶴見	28	\$170	\$4,771	
大阪	240	\$169	\$40,651	2
くずは	80	\$168	\$13,400	
大阪城東	34	\$167	\$5,670	1
大阪心斎橋	39	\$166	\$6,492	1
大阪咲洲	19	\$165	\$3,127	
大阪難波	57	\$165	\$9,380	1
大阪梅田東	30	\$161	\$4,830	
大阪御堂筋本町	46	\$155	\$7,125	1
大阪そねざき	32	\$155	\$4,950	
交野	38	\$154	\$5,852	
八尾	62	\$154	\$9,527	1
摂津	31	\$152	\$4,723	
千里	26	\$152	\$3,947	
大阪船場	38	\$152	\$5,760	
八尾東	21	\$150	\$3,156	
池田くれは	30	\$150	\$4,500	
大阪東南	33	\$150	\$4,950	
大阪帝塚山	44	\$150	\$6,600	
大阪ユニバーサルシティ	38	\$150	\$5,700	1
高槻東	33	\$150	\$4,950	1
大阪大手前	24	\$148	\$3,550	
豊中南	23	\$145	\$3,325	1

クラブ名	7月期初 の会員数	クラブ 平均	年次寄付	ベネファ クター
大阪柏原	25	\$144	\$3,597	
大阪西南	101	\$140	\$14,116	1
大阪北	190	\$140	\$26,544	1
大阪フレンド	23	\$137	\$3,150	
茨木	29	\$132	\$3,823	1
大阪西北	28	\$131	\$3,681	1
高槻西	17	\$125	\$2,128	
吹田	57	\$121	\$6,904	1
東大阪東	70	\$119	\$8,350	1
大阪中之島	33	\$119	\$3,924	
大東	38	\$115	\$4,382	1
東大阪西	21	\$114	\$2,393	1
大東中央	28	\$108	\$3,033	
高槻	47	\$108	\$5,091	
吹田江坂	26	\$106	\$2,763	1
箕面千里中央	19	\$86	\$1,630	
池田	28	\$82	\$2,299	
大阪西	107	\$81	\$8,671	
大阪天王寺	47	\$79	\$3,718	1
大阪東淀ちゃやまち	19	\$76	\$1,438	
箕面	27	\$74	\$2,009	
大阪天満橋	43	\$73	\$3,122	
八尾中央	11	\$69	\$755	
東大阪みどり	17	\$67	\$1,140	
大阪城南	46	\$63	\$2,921	
千里メイプル	17	\$59	\$1,006	
香里園	16	\$56	\$892	
大阪平野	53	\$52	\$2,751	
新大阪	29	\$46	\$1,321	
大阪ネクスト	22	\$29	\$634	
大阪北梅田	57	\$20	\$1,130	
東大阪中央	19	\$0	\$0	
門真	25	\$0	\$0	
守口	37	\$0	\$0	
守口イブニング	23	\$0	\$0	
寝屋川	34	\$0	\$0	
大阪水都	44	\$0	\$0	
大阪イブニング	13	\$0	\$0	
大阪梅田	35	\$0	\$0	

7月期初	地区平均	地区年次寄付合計	ベネファ クター
3,455	\$142.43	\$492,092.84	28

2022年1月現在

2021-22年度 ポリオ・プラス基金 寄付状況

クラブ名	7月期初 の会員数	クラブ平均	ポリオ・プラス 基金寄付
大阪堂島	40	\$114.62	\$4,584.68
大阪中之島	33	\$97.79	\$3,227.00
大阪西北	28	\$89.90	\$2,517.10
大阪心斎橋	39	\$77.81	\$3,034.66
大阪難波	57	\$71.63	\$4,082.98
大阪城北	52	\$70.09	\$3,644.42
大阪城東	34	\$69.12	\$2,350.00
大阪船場	38	\$66.32	\$2,520.00
東大阪	69	\$64.88	\$4,476.56
大阪フレンド	23	\$63.96	\$1,471.05
茨木東	30	\$61.40	\$1,842.00
豊中	37	\$60.00	\$2,220.00
門真	25	\$59.56	\$1,489.02
大阪天王寺	47	\$56.55	\$2,657.87
八尾	62	\$55.65	\$3,450.00
大阪柏原	25	\$55.20	\$1,380.00
交野	38	\$54.98	\$2,089.30
大阪	240	\$54.93	\$13,183.51
大阪淀川	18	\$54.55	\$981.90
吹田	57	\$54.55	\$3,109.35
箕面千里中央	19	\$52.63	\$1,000.00
大阪ユニバーサルシティ	38	\$52.63	\$2,000.00
大阪北	190	\$52.63	\$10,000.00
大阪リバーサイド	30	\$52.53	\$1,575.88
くずは	80	\$52.50	\$4,200.00
大阪大手前	24	\$52.08	\$1,250.00
摂津	31	\$51.61	\$1,600.00
大阪そねざき	32	\$51.56	\$1,650.00
東大阪東	70	\$51.43	\$3,600.00
大阪ネクスト	22	\$51.16	\$1,125.49
大阪城南	46	\$51.09	\$2,350.00
大阪西南	101	\$50.50	\$5,100.00
八尾東	21	\$50.21	\$1,054.40
池田くれは	30	\$50.00	\$1,500.00
大阪北梅田	57	\$50.00	\$2,850.00
大阪東南	33	\$50.00	\$1,650.00
大阪帝塚山	44	\$50.00	\$2,200.00
千里メイプル	17	\$50.00	\$850.00
吹田西	43	\$50.00	\$2,150.00
大阪うつぼ	39	\$49.91	\$1,946.33

クラブ名	7月期初 の会員数	クラブ平均	ポリオ・プラス 基金寄付
大阪東	125	\$49.60	\$6,200.00
大阪天満橋	43	\$48.40	\$2,081.10
高槻西	17	\$46.70	\$793.86
東大阪中央	19	\$45.31	\$860.94
高槻	47	\$43.67	\$2,052.57
大阪御堂筋本町	46	\$40.76	\$1,875.00
大東	38	\$39.75	\$1,510.40
大阪咲洲	19	\$39.47	\$750.00
千里	26	\$38.46	\$1,000.00
大阪梅田東	30	\$35.83	\$1,075.00
大東中央	28	\$35.71	\$1,000.00
吹田江坂	26	\$35.43	\$921.06
大阪南	175	\$34.57	\$6,050.00
茨木	29	\$34.06	\$987.72
豊中南	23	\$32.42	\$745.62
東大阪西	21	\$31.66	\$664.83
大阪平野	53	\$28.46	\$1,508.53
箕面	27	\$27.29	\$736.83
大阪梅田	35	\$27.27	\$954.45
高槻東	33	\$25.44	\$839.52
大阪東淀ちゃやまち	19	\$25.23	\$479.32
茨木西	28	\$22.27	\$623.51
東大阪みどり	17	\$20.64	\$350.88
池田	28	\$20.00	\$560.00
豊中千里	35	\$7.76	\$271.45
大阪イブニング	13	\$6.87	\$89.29
八尾中央	11	\$3.99	\$43.86
大阪アーバン	28	\$3.25	\$90.91
枚方	47	\$1.31	\$61.40
香里園	16	\$0.00	\$0.00
守口イブニング	23	\$0.00	\$0.00
守口	37	\$0.00	\$0.00
寝屋川	34	\$0.00	\$0.00
大阪水都	44	\$0.00	\$0.00
大阪中央	57	\$0.00	\$0.00
大阪鶴見	28	\$0.00	\$0.00
大阪大淀	35	\$0.00	\$0.00
大阪西	107	\$0.00	\$0.00
新大阪	29	\$0.00	\$0.00

7月期初	地区平均	地区年次寄付合計
3,455	\$43.17	\$149,141.55

2022年1月現在

2021-22年度 米山奨学会 寄付状況

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
大阪淀川	175,000	2,345,000	2,520,000	18	18	2	100.0%	140,000
大阪中之島	66,000	2,010,000	2,076,000	33	29	0	87.9%	62,909
大阪鶴見	130,000	1,052,000	1,182,000	28	5	0	17.9%	42,214
大阪大淀	187,500	1,176,054	1,363,554	35	26	1	74.3%	38,958
大阪ユニバーサルシティ	187,500	1,185,000	1,372,500	38	37	0	97.4%	36,118
吹田西	212,500	1,290,000	1,502,500	43	43	0	100.0%	34,941
くずは	240,000	2,520,000	2,760,000	80	84	0	105.0%	34,500
大阪東	375,000	3,773,000	4,148,000	125	130	0	104.0%	33,184
大阪うつぼ	195,000	1,080,000	1,275,000	39	38	0	97.4%	32,692
大阪咲洲	95,000	525,000	620,000	19	17	1	89.5%	32,631
大阪リバーサイド	305,000	605,000	910,000	30	26	0	86.7%	30,333
東大阪	340,000	1,750,000	2,090,000	69	49	0	71.0%	30,289
大阪堂島	405,000	804,530	1,209,530	40	37	0	92.5%	30,238
大阪梅田	180,000	860,000	1,040,000	35	34	0	97.1%	29,714
大阪	1,205,000	5,725,000	6,930,000	240	132	0	55.0%	28,875
豊中南	120,000	530,000	650,000	23	17	0	73.9%	28,260
大阪心斎橋	200,000	875,000	1,075,000	39	41	0	105.1%	27,564
吹田	282,500	1,275,000	1,557,500	57	51	0	89.5%	27,324
大阪北	1,152,000	4,005,000	5,157,000	190	77	67	40.5%	27,142
大阪御堂筋本町	230,000	965,000	1,195,000	46	36	0	78.3%	25,978
千里	130,000	545,000	675,000	26	20	0	76.9%	25,961
大阪南	712,000	3,725,000	4,437,000	175	125	0	71.4%	25,354
高槻東	256,000	544,000	800,000	33	32	0	97.0%	24,242
吹田江坂	130,000	460,000	590,000	26	23	0	88.5%	22,692
八尾	342,500	1,056,120	1,398,620	62	52	0	83.9%	22,558
豊中千里	266,250	515,000	781,250	35	5	0	14.3%	22,321
大東中央	137,500	480,000	617,500	28	19	0	67.9%	22,053
大阪難波	351,000	880,000	1,231,000	57	58	0	101.8%	21,596
交野	95,000	724,000	819,000	38	28	0	73.7%	21,552
枚方	235,000	735,000	970,000	47	44	3	93.6%	20,638
大阪船場	228,000	532,000	760,000	38	38	0	100.0%	20,000
豊中	222,000	500,000	722,000	37	20	2	54.1%	19,513
摂津	80,000	502,000	582,000	31	32	0	103.2%	18,774
東大阪東	336,000	965,000	1,301,000	70	32	0	45.7%	18,585
茨木	300,000	230,000	530,000	29	15	0	51.7%	18,275
高槻西	82,500	228,000	310,500	17	15	0	88.2%	18,264
大阪城東	170,000	425,000	595,000	34	7	0	20.6%	17,500
大東	165,000	495,000	660,000	38	33	0	86.8%	17,368
東大阪みどり	85,000	210,000	295,000	17	7	0	41.2%	17,352
大阪西南	497,500	1,245,000	1,742,500	101	50	0	49.5%	17,252
大阪東淀ちゃやまち	90,000	237,500	327,500	19	19	0	100.0%	17,236
大阪西	542,500	1,260,000	1,802,500	107	29	3	27.1%	16,845
大阪城南	117,500	650,000	767,500	46	18	0	39.1%	16,684

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
箕面千里中央	95,000	215,000	310,000	19	13	0	68.4%	16,315
大阪フレンド	105,000	268,000	373,000	23	13	0	56.5%	16,217
東大阪西	0	335,000	335,000	21	13	0	61.9%	15,952
千里メイプル	85,000	172,000	257,000	17	12	0	70.6%	15,117
大阪梅田東	0	452,000	452,000	30	17	0	56.7%	15,066
大阪天王寺	235,000	470,000	705,000	47	47	0	100.0%	15,000
茨木西	137,500	280,000	417,500	28	28	0	100.0%	14,910
大阪平野	265,000	515,000	780,000	53	22	0	41.5%	14,716
大阪天満橋	105,000	525,000	630,000	43	42	0	97.7%	14,651
大阪中央	292,500	518,850	811,350	57	41	0	71.9%	14,234
大阪西北	132,500	260,000	392,500	28	13	0	46.4%	14,017
箕面	135,000	241,000	376,000	27	19	0	70.4%	13,925
大阪帝塚山	220,000	385,000	605,000	44	37	0	84.1%	13,750
茨木東	147,500	211,000	358,500	30	22	1	73.3%	11,950
八尾東	52,500	188,500	241,000	21	20	1	95.2%	11,476
大阪柏原	62,500	220,000	282,500	25	20	0	80.0%	11,300
守口	185,000	200,000	385,000	37	2	0	5.4%	10,405
門真	130,000	130,000	260,000	25	26	0	104.0%	10,400
大阪ネクスト	110,000	100,000	210,000	22	1	0	4.5%	9,545
高槻	235,000	170,000	405,000	47	17	0	36.2%	8,617
池田くれは	150,000	100,000	250,000	30	1	0	3.3%	8,333
大阪そねざき	112,000	148,000	260,000	32	10	0	31.2%	8,125
池田	224,000	0	224,000	28	0	0	0.0%	8,000
大阪イブニング	65,000	30,000	95,000	13	3	0	23.1%	7,307
香里園	32,000	84,000	116,000	16	15	0	93.7%	7,250
大阪大手前	150,000	0	150,000	24	0	0	0.0%	6,250
大阪城北	262,500	0	262,500	52	0	0	0.0%	5,048
守口イブニング	115,000	0	115,000	23	0	0	0.0%	5,000
東大阪中央	95,000	0	95,000	19	0	0	0.0%	5,000
八尾中央	55,000	0	55,000	11	0	0	0.0%	5,000
大阪北梅田	282,500	0	282,500	57	0	0	24.1%	4,956
新大阪	72,500	12,000	84,500	29	7	0	0.0%	2,913
大阪東南	80,000	0	80,000	33	0	0	0.0%	2,424
大阪水都	0	0	0	44	0	0	0.0%	0
寝屋川	0	0	0	34	0	0	0.0%	0
大阪アーバン	0	0	0	28	0	0	0.0%	0

総計	16,279,750	57,724,554	74,004,304	3,455	2,109	81	61.0%	21,419
----	------------	------------	------------	-------	-------	----	-------	--------

2022年1月現在

2022年1月度 会員数報告

I M 組	クラブ名	7月期 初会員数	1月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数
			全員	女性				
I M 第1組	池田	28	28	3	0	0	0	3
	池田くれは	30	30	5	0	0	0	3
	箕面	27	27	4	2	2	0	4
	箕面千里中央	19	19	3	1	1	0	3
	大阪水都	44	40	7	4	8	-4	2
	大阪中央 (内、ミレニアルズ衛星)	57	60 (11)	11 (5)	5	2	3	4
	大阪北梅田	57	57	5	0	0	0	3
	大阪北	190	194	0	11	7	4	3
	大阪大淀	35	39	0	4	0	4	3
	大阪そねざき	32	33	16	1	0	1	1
	大阪梅田	35	37	9	2	0	2	3
	大阪梅田東	30	30	0	1	1	0	4
	豊中	37	37	2	0	0	0	2
	豊中千里	35	36	4	1	0	1	4
	豊中南	23	24	1	1	0	1	3
	小計	679	691	70	33	21	12	
I M 第2組	茨木	29	29	3	1	1	0	2
	茨木東	30	28	5	0	2	-2	2
	茨木西	28	27	4	0	1	-1	3
	大阪東淀ちゃやまち	19	17	1	0	2	-2	3
	大阪淀川	18	17	5	0	1	-1	3
	千里	26	25	2	0	1	-1	2
	千里メイプル	17	17	3	0	0	0	4
	摂津	31	32	2	1	0	1	3
	新大阪	29	32	1	4	1	3	3
	吹田	57	56	9	1	2	-1	3
	吹田江坂	26	26	2	0	0	0	3
	吹田西	43	42	0	0	1	-1	3
	高槻	47	47	7	4	4	0	3
	高槻東	33	31	1	0	2	-2	3
	高槻西	17	16	0	0	0	-1	3
	小計	450	442	45	11	18	-8	
I M 第3組	大東	38	37	0	0	1	-1	1
	大東中央	28	27	13	0	1	-1	0
	枚方	47	47	5	1	1	0	3
	門真	25	26	5	1	0	1	2
	交野	38	37	1	0	1	-1	3
	香里園	16	16	0	0	0	0	1
	くずは	80	83	4	5	2	3	1
	守口	37	36	5	0	1	-1	0
	守口イブニング	23	23	5	0	0	0	3
	寝屋川	34	36	4	2	0	2	3
	大阪東	125	131	5	7	1	6	4
	大阪城東	34	34	8	0	0	0	2
	大阪城北	52	54	5	3	1	2	1
	大阪鶴見	28	28	2	0	0	0	0
	小計	605	615	62	19	9	10	

I M 組	クラブ名	7月期 初会員数	1月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数
			全員	女性				
I M 第4組	東大阪	69	7	0	3	2	1	3
	東大阪東 (内、フューチャー衛星)	70	70 (14)	6 (2)	2	2	0	4
	東大阪西	21	21	0	1	1	0	0
	東大阪中央	19	18	2	0	1	-1	3
	東大阪みどり	17	17	0	0	0	0	0
	大阪柏原	25	26	3	1	0	1	3
	大阪御堂筋本町	46	46	2	0	0	0	2
	大阪難波	57	58	0	3	2	1	2
	大阪ネクスト	22	22	8	0	0	0	2
	大阪南 (内、なみはや衛星)	175	180 (9)	12 (0)	6	1	5	3
	八尾	62	68	0	7	1	6	2
	八尾中央	11	11	0	0	0	0	2
	八尾東	21	21	0	0	0	0	3
	小計	615	628	31	23	10	13	
I M 第5組	大阪堂島	40	41	6	3	2	1	2
	大阪フレンド	23	21	5	0	2	-2	2
	大阪西北	28	25	0	0	3	-3	3
	大阪リバーサイド	30	32	5	3	1	2	3
	大阪船場	38	38	4	2	2	0	3
	大阪心斎橋	39	42	2	3	0	3	3
	大阪西南	101	98	23	1	4	-3	4
	大阪ユニバーサルシティ	38	36	5	1	3	-2	3
	大阪アーバン	28	30	2	3	1	2	4
	大阪うつぼ	39	38	5	1	2	-1	3
	大阪西	107	108	3	4	3	1	4
	小計	511	509	60	21	23	-2	
I M 第6組	大阪	240	242	1	19	17	2	4
	大阪イブニング	13	13	3	0	0	0	2
	大阪平野	53	52	5	1	2	-1	4
	大阪城南	46	46	0	1	1	0	4
	大阪中之島	33	35	2	2	0	2	3
	大阪大手前	24	22	2	1	3	-2	2
	大阪咲洲	19	19	0	0	0	0	2
	大阪東南	33	33	5	1	1	0	1
	大阪天満橋	43	43	0	0	0	0	4
	大阪天王寺	47	50	1	3	0	3	2
	大阪帝塚山	44	43	4	0	1	-1	2
	小計	595	598	23	28	25	3	

クラブ数	7月期 初会員数	月末 会員	女性	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減
79	3,455	3,483	291	135	106	28

※()内は衛星クラブの会員数



Rotary

Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2022年3月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

「Think-global Act-local」をテーマに、「ロータリー奉仕デー」の企画 / 2021年度

「ロータリーコーディネーター」の仕事は、会員基盤部門だけに限らず、「ロータリー活動そのものの活性化をコーディネートする仕事」と理解して、地区研修リーダーとして、地区・地区内クラブの運営や事業計画立案に関わる時は、「クラブ活性化(即ち会員増強)」は、「ロータリー財団補助金を積極的に使用する奉仕PJ」を実施して、そのPJを「ロータリー活動の広報とイメージアップ向上のために、PJ実施前後の対外広報活動の準備」を三位一体の基本として計画してきました。

然し乍ら、日本の会員として共通する問題でもあると思いますが、以前の「ロータリー財団6つの重点分野」では、自分たちの身近な問題として捉え難かったことは否めません。

そんな折に、「環境」が7つ目の重点目標に追加され、然もシェカール・メータRI会長は「ロータリー奉仕デー」の実施を呼びかけられたので、2700地区としては、2020年度から取り組んでいる「環境保全活動」と「ロータリー奉仕デー」をジョイントする事を、今年度の地区の奉仕デー方針「Think-global Act-local」とし、地区内61全クラブ参加の「ロータリー奉仕デー」を開催しました。他地区の参考にでもして頂ければ幸甚と思い紹介いたしました。

2700地区が2020年度より参加している「宗像国際環境会議」に、「2700地区ロータリークラブ」として参加し、当地区奉仕デーの事業を「宗像国際環境会議のField-work」とし、地区会員を対象とした「会員対象の環境保全研修会」は福岡市内研修会場と「地区内61の全クラブ」と「宗像国際環境会議会場」をオンラインの同時進行のハイブリットで実施し、しかも一部の講演等は「Facebook」で同時に世界発信し、「宗像国際環境会議」のページにて参加出来るようにしました。

1月のRI会長方針を受けてからの、地区内全クラブを対象とした急な対応となったので、2月からの準備を時系列に紹介します。

1. 地区研修委員会と社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会にて詳細検討
2. 地区研修委員7名全員を地区内7グループの担当とし、7名のガバナー補佐を支援することとし、「ロータリー奉仕デー対策 ガバナー補佐会議」を数回開催。
3. PETSの全体会議にて「地区奉仕デーの概要説明と財団補助金等の適応説明」→「グループ別会議」→全体会議にて「各グループの行動予定」と「事前、事後の対外広報計画の説明」。
4. 地区研修・協議会にて、約800名の会員に「2700地区ロータリー奉仕デーの意義」を再度説明。
5. 地区内7グループの活動は未だ進行中のPJもあるので最終的な総括は出来ていませんが、6グループが終わった段階で、地区会員総数(約3200名)の倍以上の参加人数です。
6. このPJは、12月5日に東京で開催された「ロータリー財団地域セミナー」にて、「第3地域の事業例」として報告する栄誉も賜りました。

この事業は地区内会員や一般の方の多くの賛同と参加を得たので、2022年度は更にバージョンアップして、下記のような事業を計画し、既に準備が進んでいます。

「クラブ活性化」のために「会員基盤向上部門」「公共イメージ向上部門」と「ロータリー財団部門」の3部門合同の「クラブ活性化奉仕PJ」の企画 2022年度

1. 「クラブ活性化セミナーを今年6月に開催する」

担当委員会は 会員基盤向上部門・広報・公共イメージ向上部門・ロータリー財団部門の3部門とする。

2. 「オープン例会Week」の開催

会員基盤向上部門は、7月から8月にかけて、地区全61クラブを対象とした

1or2週間の「オープン例会Week」の開催を働きかける。

オープン例会の出席対象者は、1.会員候補者 2.会員事業所の社員 3.会員家族 4.マスコミ関係 5.等々で、出席者の食事代金は、地区負担する。

3. 「2700地区の取り組む環境保全」の映像を作成し、オープン例会時の全てのクラブの卓話時間に使用する。

映像は、「国際ロータリーの紹介・国際ロータリーの環境保全活動・2700地区の環境保全活動」の内容の30分映像を、地区研修委員会が作成する



2022年3月号 No.2

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

4. 「地区環境保全奉仕デー」は、2021年度を参考にして、地区社会奉仕委員会が主管で「宗像国際環境会議」とコラボして9月～11月の間に実施する。
5. 「オープン例会」と「地区環境保全デー」は、公共イメージ向上部門が事前・事後の対外広報を周到に準備する。
6. 「地区環境保全PJ」に関わる費用は、「ロータリー地区補助金」と「地区事業補助金」の対象となることをロータリー財団委員会は周知を図る。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫(宗像RC)

第3地域戦略計画セミナーについて

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながるようになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期(7月第一週か第二週の土曜日)に毎年交代で担当をつとめ「戦略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区ガバナーによる地区方針の発表、前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心に構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区の研修会などで発表する機会が少ないのが現状です。

RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非 お声がけください。

クラブの会員増強と活性化につながるごお手伝いが出来るように準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 片山 勉(大阪東RC)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 263

2022年2月14日
発行

1. クラブ国際奉仕活動に学友会が協力

出雲中央RCとタイ米山学友会がタッグを組み、タイの病院へ医療器具を寄贈しました。

このプロジェクトは第2690地区（岡山県・島根県・鳥取県）と出雲中央RCによる地区世界社会奉仕プロジェクトの一つであり、同クラブがかつて世話をした元米山奨学生、ブサコーン・ホンヨックさんを通じて、タイ米山学友会へ協力を仰いだもの。同学友会はこの話を受け、寄贈先となる医療機関の選定や、現場で今必要とされている機器の把握、販売業者の情報などを調査し、出雲中央RCへ逐次報告。学友会から



の12,378パーツを足して、昨年12月にネーザルハイフロー（高流量で高濃度酸素を投与できる呼吸療法機器）1台を寄贈、ま

た、今年1月にはストレッチャーを1台ずつ2病院へ寄贈しました。現在、オミクロン株が急拡大しているため贈呈式には立ち会えなかったものの、「今回のご支援で、医療設備が充分ではない地域の病院を助けることができた。学友

会として世話クラブのお手伝いできたことが何よりも嬉しく、懸け橋の役割を果たせた」と、ワシン・テイシャシャイニラン会長（東京清瀬RC）とブサコーンさんが語ってくれました。



寄贈したネーザルハイフロー（銘板には出雲中央RCとタイ米山学友会の名が刻まれている）

2. よねやま親善大使の活躍

2月5日、第2560地区米山奨学委員会が主催する「第2回米山委員長セミナー」が新潟市内で開かれ、よねやま親善大使のカレン・ジュリア・ウォーターズさん（1992-94/京都南RC）が同地区54クラブの米山奨学委員長に向けてスピーチをしました。今回はオミクロン株の感染拡大を受けてハイブリッド形式となり、会場に集まったガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニーを含む約25人は全員抗原検査を受けてから入場するなど、厳戒態勢での開催となりました。久しぶりの活動と



なったカレンさんは米山奨学生時代の感謝から現在の仕事に込める思いなどを語り、聞きながら涙を浮かべる参加者もありました。

現在の第4代よねやま親善大使の3人は、就任時からコロナ禍に見舞われ、ほとんど活動ができていません。このため、任期を1年間延長し、2023年6月末までとすることが決定されました。感染が落ち着きましたら、ぜひよねやま親善大使をお招きください。



Q 招への費用はどのくらい？

地区・分区・クラブ周年行事の場合、親善大使の旅費（交通費・宿泊費・基本の食費）は奨学会が負担します。地区大会登録料、晚餐会参加費などは、招へい側でのご負担をお願いします。

Q クラブ卓話へ呼べますか？

できるだけ地区・分区行事への招へいをお願いしていますが、親善大使（大阪・東京在住）の旅費をクラブでご負担いただける場合、招へいが可能です。

Q どこに申し込めばいい？

米山奨学会事務局広報担当までメールまたはお電話でご連絡ください。折り返し、招へい申請書をお送りします。その後、事務局が派遣できる親善大使を調整します。

3. 寄付金速報 — まん延防止の影響で減少か —

1 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.9% 減（普通寄付金:3.3% 減、特別寄付金:1.1% 減）、約 2,000 万円の減少となりました。ご寄付をいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。例年 1 月は、普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただ

く定期寄付）の下期分の納入が主となります。しかしながらオミクロン株の影響で休会中のクラブが増え、1 月の納入金額が減少したように思われます。まだ先が見えない状況ですが、引き続きご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

4. 鶴ヶ島 R C が初の奨学生スピーチコンテスト

1 月 30 日、第 2570 地区（埼玉県）鶴ヶ島 R C が「第 1 回米山記念奨学生スピーチコンテスト」を初開催し、同地区奨学生 6 人と学友 2 人、計 8 人が出場。「日本について思うこと」をテーマに、一人 4 分の持ち時間で、それぞれ日本への思いを発表しました。会長賞には、尚美学園大学芸術情報学部で学ぶ鄭晴さん（マレーシア／2020-22／行田さくら R C）が選ばれ、齊藤大祐会長から表彰状と記念品が手渡されました。



このイベントは鶴ヶ島 R C が「地区内の米山奨学生から異文化を学びたい」と企画したもの。出場者を募り、審査員の一人として参加した同地区米山記念奨学部門委員長の渡邊藤男氏は、

「普段、皆さんがクラブで聞く卓話とは異なり、より深く彼らの思いを知ることができた。思っていた以上に素晴らしく、感動をもらった。地区内の多くの会員にもぜひ聞いていただきたい」と、振り返って述べられました。

5. 高校生への国際理解授業

東京米山友愛 R C と東京米山ロータリー E クラブ 2750 が主催する、学友・奨学生と高校生との交流イベントが 1 月 22 日、都立小平高等学校で 2 年ぶりに開催されました。

この国際交流会は 2013 年度に東京米山友愛 R C が始めて以来、今年で 9 年目を迎えます。昨年はコロナで中止となりましたが、今年は感染対策を講じて 1 人が 1 クラスのみを担当、学友・奨学生が教壇に立つ授業スタイルへ変更し行われました。対象となったのは同校 2 学年の 7 クラス約 280 人。参加した米山学友・奨学生は 8 人。高校生たちにとってはコロナ感染拡大以降、初めて外部講師とふれ合う場とな

り、休み時間も惜しんで講師へ質問する姿が見られました。「言葉や文化だけでなく、生き方を教わった。国が違えば考え方も異なると思っていたが、実際に話を聞くと、近いものを感じた」と、ある高校生は感想を述べました。

企画した東京米山友愛 R C 会員の朴貞子さん（2006-08／岸和田 R C）は、「日本にいる奨学生・学友に多くのチャンスをあげたいし、ロータリーならではの体験をさせてあげたい。そ

してこの経験を各自母国に持ち帰って、広めてほしい」と、話しました。また、同クラブは 11 月 20 日にも、都立成瀬高等学校でオンライン交流授業を実施しています。



学友と一緒に K-POP グループのダンスを踊る高校生

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

櫻 井 明 会員 (大阪難波RC) 令和4年1月2日 ご逝去 享年 85歳
職業奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

大 谷 透 会員 (大阪西南RC) 令和4年1月13日 ご逝去 享年 88歳
会長、副会長、地区ガバナー
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

樋 口 秀 和 会員 (大東RC) 令和4年1月21日 ご逝去 享年 82歳
会長、幹事、クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長、ガバナー補佐
米山功労者(マルチプル)、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

矢 橋 弘 嗣 会員 (千里RC) 令和4年1月22日 ご逝去 享年 92歳
会長、幹事、理事、RI国際大会財務長補佐、地区社会奉仕委員長、地区代表幹事、ガバナー補佐
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岡 田 康 夫 会員 (茨木東RC) 令和4年1月23日 ご逝去 享年 67歳
会長、副会長、幹事
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

佐 治 信 隆 会員 (守口RC) 令和4年1月31日 ご逝去 享年 80歳
会長、理事
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

戸 田 孝 会員 (八尾RC) 令和4年2月2日 ご逝去 享年 96歳
会長、幹事、理事、地区ガバナー、RI国際協議会グループリーダー
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

